



プラネタリウムからの挑戦状

全問正解できるかな？

第1問

地球と宇宙の境目は地上からどれくらいの高さにある？
(どこからが宇宙？)

- ① 約10km
- ② 約100km
- ③ 約1000km



第2問

今年(2022年)7月21日、地球から見て火星が月に隠される現象が起こります。何という？

- ① 火星食
- ② 火星消し
- ③ 火星の神隠し

第3問

北の空で1年中見ることができる夏の星座はどれ？

- ① りゅう座
- ② おおぐま座
- ③ こぐま座

第4問

夏の星座、ヘルクレス座は右手にはこん棒を持っていますが、左手には何を持っている？

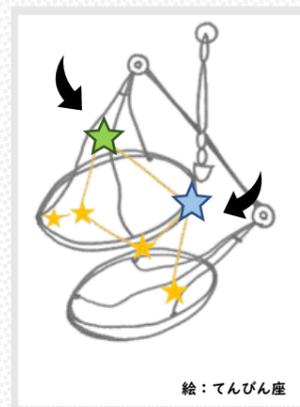


- ① お花
- ② ヘビ
- ③ 縄(なわ)

第5問

てんびん座のところに光る2つの星(★☆)は、昔は〇〇座の星でした。〇〇座とはどれ？

- ① いて座
- ② さそり座
- ③ かに座



プラネタリウムからの挑戦状 答え合わせ



何問正解できたかな？

第1問

答：② 約100km

はっきりと線が入っているわけではないので、ここから宇宙という境はありませんが、一般的に大気（地球では空気）が薄くなり、なくなってくる辺りが、約100km。そこを境目として、その先を「宇宙」と呼んでいます。

また、100kmからは北極圏などで多く見られるオーロラが発生する高さです。



第2問

答：① 火星食

7月21日～22日に日付が変わる頃、火星食を見ることができます。東京では、月が昇ってくる直前に月が火星を隠します（潜入）。月に隠れた状態で火星は昇ってきて、22日0時15分頃に、月の後ろから火星が現れます（出現）。

次回、火星食を日本で見られるのは、2024年5月5日ですが、日中の現象のため、観察するのは難しくなっています。

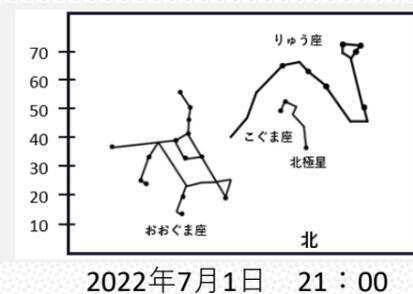
月の出	潜入	出現
21日23時37分	見えません	22日0時15分

第3問

答：① りゅう座

夏の星座の一つで、北極星を中心に北の空で1年中見ることができます。

おおぐま座とこぐま座も1年中見ることができますが、春に高く上がるので春の星座としています。



第4問

答：② ヘビ

ヘルクレス（ヘラクレス）は、ギリシャ神話に登場する12の冒険をした英雄です。

ヘルクレスがまだ赤ちゃんだったころ、毒ヘビを手でつかまえて、にぎりつぶしたといひます。小さいころから強かったということも、星座絵に表しているとも言われています。

また、ヘビと一緒に描かれているのは、黄金のりんごの枝葉です。

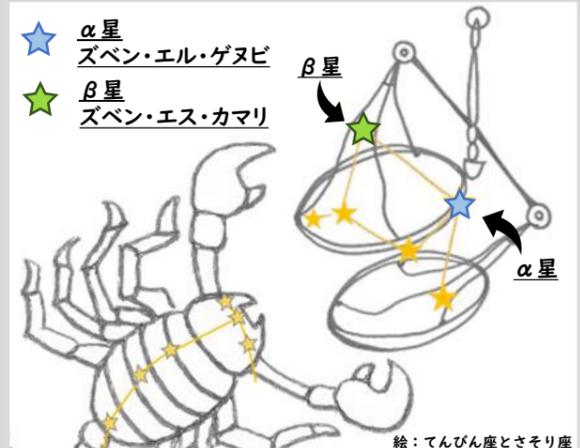


絵：ヘルクレスの左手

第5問

答：② さそり座

2つの星は昔、さそり座のはさみの部分だったことから、てんびん座のα星は「南の爪」という意味を持つズベン・エル・ゲヌビ、β星は「北の爪」という意味を持つズベン・エス・カマリという名前がついています。



絵：てんびん座とさそり座

